



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2021/4/4 Rd-1 富士スピードウェイ

天候：曇り

気温：17°C

出走台数：18台

観客数：3日(土)7,800人 4日(日)11,300人 合計19,100人

2021シーズン開幕を迎えた4月4日(日)の富士スピードウェイは、午前中時折日差しがのぞいたが、午後には厚い雲に覆われ肌寒く、ホームストレート上は強い追い風が吹くコンディション。15時頃には雨が降り始めるという天気予報。

笹原選手3番グリッド、福住選手4番グリッド、共に2列目からスタートした両選手。抜群の蹴りだしを見せた福住選手は、1コーナーで2番手に並ぶが抜くには至らず1ポジションアップの3番手。笹原選手は福住選手に先行され4番手でオープニングラップを周回。福住 笹原 両選手は1分24秒前半でベストタイムを更新しながら2番手との差を詰めてゆく。福住選手は21周目に2番手大湯選手に肉薄し、24周目にオーバーテイク、2番手にポジションアップした。その後方で淡々とチャンスをうかがっていた笹原選手も、翌25周目に大湯選手を抜き3番手となるが、このころ細かな雨が降り始めた。

25周目にタイヤ交換を行った大湯選手のアンダーカットを阻止すべく、28周終了時点で福住選手が、翌周には笹原選手がピットインするが、このタイミングでWET宣言が出される。それぞれタイヤ交換後に大湯選手の前でコース復帰に成功するが、雨の影響で路面温度が下がり、タイヤのウォームアップに時間がかかったためポジションを落とすことになる。レース後半、福住選手は、濡れた路面ながらベストペースでトップを追うも届かず3位表彰台で、笹原選手は山本選手とのバトルを制して5位でポイントを獲得し開幕戦を終えた。

5：福住選手 3位 (HONDA勢3位)

今シーズンは、エースナンバーの5号車をドライブする体制を準備いただき、色々な意味でプレッシャーを感じていました。レース中は、クルマのバランスに苦労した部分もあり、雨が降り出したタイミングも悪く、2位のポジションを維持できませんでした。

その後のペースは良く、最後の数周はトップの車も見えていただけに、本来のポテンシャルを出し切れなかった事が不甲斐ないですね。表彰台でレースを終え、ポイントを取れたことは良かったので、この結果を次戦に生かしてさらに上を目指します。

6：笹原選手 5位 (HONDA勢4位)

スタートでポジションをひとつ落としてしまいましたが、タイヤや天候を考えて、前半はペースを守ってチャンスを生かして前に行こうと考えていました。先行する大湯選手を抜き、3位になった時点でピットインしたのですが、ピット作業での遅れや雨が降り出したこともあります。ポジションを落としてしまいました。レース中の車のバランスはとてもよく、5位でポイントを持ち帰ることができましたし、週末を通して、自分自身も車もベストを尽くせたと思います。